

知って対策！ 特殊詐欺の手口！！

【出典】警視庁・SOS47 特殊詐欺対策 ホームページ

☠オレオレ詐欺

親族、警察官、弁護士等を装い、親族が起こした事件・事故に対する示談金等を名目に金銭等をだまし取る（脅し取る）手口です。

☞ **「携帯番号が変わった」「風邪引いた」は詐欺！**

【対策】電話でお金の話が出たら、一旦電話を切り、すぐに家族などに相談しましょう！

☠預貯金詐欺・キャッシュカード詐欺盗

警察官、自治体、銀行等を装い、「キャッシュカード（銀行口座）が不正に利用されている」「預金を保護する必要がある」などと、嘘の手続きを説明して自宅を訪れ、キャッシュカードをだまし取り、又はキャッシュカードをすり替えて盗み取る手口です。

☞ **「キャッシュカードを預かる」「キャッシュカードを確認しに行く」は詐欺！**

【対策】警察官、自治体、銀行などの職員が暗証番号を聞いたり、キャッシュカードを預かることは絶対にありません。

☠還付金詐欺

市役所の職員を装って電話を掛け「医療費の還付金があるので、最寄りのATMで手続きをして欲しい」と、ATMに誘導し、携帯電話で指示しながら、被害者の口座から犯人の口座に現金を振り込ませる手口です。

☞ **「還付金がある」「ATMで手続きして欲しい」は詐欺！**

【対策】ATMの手続きで還付金がもどることは絶対にありません。

☠架空料金請求詐欺

未払いの料金があるなど架空の事実を口実とし金銭等をだまし取る（脅し取る）手口です。

☞ **「コンビニで電子マネーカードを買って、カード番号を教える」は詐欺！**

【対策】事業者、法務省や裁判所などが「未納料金などの支払い」の名目で、コンビニエンスストアで、電子マネー（プリペイドカード）を購入させることは絶対にありません。

☠その他の手口

融資保証金詐欺、金融商品詐欺、ギャンブル詐欺、交際あっせん詐欺 等

ほほえみ通信 特別号

【発行者】ほほえみネットワーク・愛宕（愛宕地区地域福祉推進委員会）

【事務局】社会福祉法人 多摩市社会福祉協議会

地域福祉推進課 まちづくり推進担当

TEL 042-373-5616 FAX 042-373-6629

<http://www.tamashakyo.jp/machizukuri/index.html>



ほほえみネットワーク・愛宕
イメージキャラクター「ほほえみん」

ほほえみサミット2021

「特殊詐欺対策講座」を開催しました



第25回委員会 「ほほえみサミット2021」特殊詐欺対策講座
開催日時：令和3年10月2日（土）10：00～12：15
会場：愛宕かえで館 2階ホール
参加者：35名（事務局、警察署、地域包括支援センター含む）

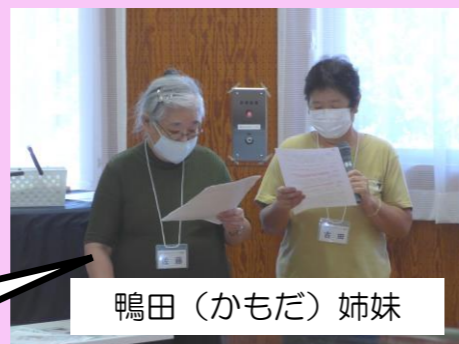
今回は、防犯特集号！！

「特殊詐欺対策講座」の当日の詳細は2面・3面をご覧ください！

今回は ほほえみサミット2021 「特殊詐欺対策講座」特集！

【特集1】寸劇「ニセ警察官の巻」(キャッシュカード詐欺盗)

ほほえみネットワーク・愛宕の世話人で構成した「ほほえみ劇団」による寸劇を行いました。喜劇を交え、楽しみながらも特殊詐欺の手口を学ぶという内容でした。



鴨田(かもだ)姉妹

私たちの名前が「カモ」であなたの名前が「サギ」なんて、なんか嫌だね。あなた本当に詐欺じゃないのよね？

勘弁してくださいよ〜。
名前がたまたま鷺本(さぎもと)というだけの話ですよ！！



鷺本(さぎもと)

【寸劇あらすじ】

愛宕に住む高齢の鴨田(かもだ)姉妹に多摩中央警察署を語る男から電話が…。聞けば、振込詐欺グループを逮捕したところ、詐欺グループのリストに鴨田姉妹の銀行口座情報が入っていたという。防犯対策として、銀行のカードを交換すると言って自宅にやって来たのは、多摩中央警察署を名乗る鷺本(さぎもと)という男。果たして、鴨田姉妹の運命やいかに！？

【特集2】多摩中央警察署生活安全課による防犯講話

寸劇に続いて、多摩中央警察署生活安全課から、特殊詐欺の被害状況や実態、注意点等についてお話いただきました。

「具体的な被害の数字を聞くことで、他人事でなく、自分にも起こりうることだと実感出来た」等の感想がありました。



【多摩中央警察署からのコメント】

本日は、ユーモアを交えながら、詐欺犯人の手口を忠実に再現した、素晴らしい寸劇を拝見させていただきありがとうございました。このような詐欺犯人からの電話が、実際に連日のように多摩市内に掛かってきています。電話があった際には、市役所と連携して防災無線でお知らせしていますので、十分ご注意くださいと共に、犯人と思われる者からの電話がありましたら、直ぐに110番、又は多摩中央警察署までご連絡ください。

【特集3】グループワーク



こうやって、みんなで話して、注意しあうことが、大切だね！

寸劇、防犯講話の後は、参加者が4つのグループに分かれて情報交換や意見交換を行いました。身近で起きた詐欺のことや、自分が行っている対策等、参加者間で情報を交換しながら、特殊詐欺への理解を深めました。

各グループの発表に、多摩中央警察署からもコメントをいただき、地域の防犯力を高めて行く機運が高まりました。

【各グループからの声(一部抜粋)】

●手口

- ◇大学生の息子が交通事故との電話が来た。娘が家にいたので、娘から息子に電話をすると、交通事故は嘘の電話と分かった。要求は200万円だった。
- ◇階段横のチラシを見て、粗大ゴミを業者をお願いしたところ、家の中に入って来て、勝手に引き出しから貴金属を取られた。声をあげて隣の人が来たので、犯人は逃げた。

●対策

- ・電話が来ても相手より先に名乗らない
- ・常に留守番電話に設定しておく
- ・迷惑電話防止機器を利用
- ・怪しい電話は家族にすぐに相談
- ・知らない電話やメールは無視する
- ・個人情報や暗証番号は教えない